信州環境パートナーシップだより

環たまき vol.93

★令和2年度
信州豊かな環境づくり県民会議表彰の受賞者について

★「さわやか信州省エネ大作戦・2020夏」実施中
～感染症や熱中症を予防しながら、健康・エコな暮らしを～

★エコロジー掲示板
○7月1日からレジ袋の有料化がスタートしました
○スマホアプリで「自宅でセミ調べ　2020」にご参加ください
○「ライチョウ保護スクラムプロジェクト」の取組み

令和元年度環境保全に関するポスターコンクール
中学生の部　最優秀作品
諏訪市立諏訪中学校2年　中島（なかじま）　一樹（いつき）さん

環境キーワード解説

『熱中症警戒アラート（仮称）』

気象庁では、これまで、翌日又は当日の最高気温が概ね 35℃以上になることが予想される場合に「高温注意情報」を発表していましたが、7月から、関東甲信地方を対象に、新たに「熱中症警戒アラート（仮称）」の試行を始めました。

「熱中症警戒アラート（仮称）」は、暑さ指数（WBGT）（※）が一定の水準（WBGT33℃）以上となることが予想される場合に発表され、テレビ・ラジオや市町村の防災無線を通して伝えられます。

同じ気温でも、天候による強い日差しや、湿度が高くなることで、熱中症のリスクが上がる場合があります。

「熱中症警戒アラート（仮称）」が発表された際には、こまめな水分補給や屋外での作業をやめるなどの対策をしてください。

（※）気温、湿度と輻射熱（ふくしゃねつ）（太陽からの直接の熱エネルギー量に加え周囲の高温になっている建物や道路などから受ける熱エネルギー量）の3つを取り入れた、暑さの厳しさを示す指標

詳しくはこちらのサイトをご覧ください。
https://www.wbgt.env.go.jp/
環境省　熱中症　検索

令和2年度 信州豊かな環境づくり県民会議表彰の受賞者について

信州豊かな環境づくり県民会議では、多年にわたって又は他の模範となり、環境美化活動などに貢献された個人や団体を表彰しています。今年度の受賞者には次の方々が選ばれ、当会議から表彰状を送りました。

受賞者	主な取組内容	活動期間	活動地域
公益社団法人 佐久青年会議所	佐久地域を流れる豊かな千曲川を守ることを目的として、昭和46年から「千曲川浄化運動」に取り組んでおり、近年は、行政や地域団体の活動に協力し、毎年4月に千曲川河川敷の清掃活動に参加するなど、河川の浄化に向けた活動を行っている。	約49年間	佐久市
一ツ谷高齢者クラブ	通学路の植栽の管理や草刈り作業等を行っており、近年では地元の小学校ＰＴＡや児童生徒も参加して草刈り作業等を行い、高齢者と小中学生との交流の場にもなっている。	約7年間	小諸市
緑のサポーター	グリーンパーク通り（丸子東部インター線）において、美化作業等を行っており、また、東御市内3ヵ所のポケットパークの花植え等の保全美化活動を行っている。	約22年間	東御市
上田商工会議所 交通・観光サービス業部会	高速道路から上田市内へ向かう道路や公園の清掃等の環境美化活動を行い、クリーンな上田をPRしている。	約15年間	上田市
東堀区衛生委員会	地域の清掃活動の中心として率先的に取り組み、住環境向上と美化に努めている。また、地域の住民に向けて、ごみの分別や出し方の指導を行うなど、３Ｒ推進とごみ減量の周知に努めている。	約62年間	諏訪市
入笠ボランティア協会	入笠山と入笠湿原の環境維持と、失われた自然の復元を目的として、清掃活動、遊歩道・登山道整備や植生調査、帰化外来植物除去作業など年間を通じて行っている。また、自然保護や環境保全についての啓もう、啓発活動も行っている。	約16年間	富士見町
株式会社木下工業	国道沿いを中心とした大桑村内の景観維持・環境美化を目的として、植樹後の景観整備、草刈り、歩道のごみ拾いなど環境美化を行っている。また、地域を流れる横河川、十四瀬川の除草・清掃活動を実施するなど、河岸の美化に努めている。	約26年間	大桑村
美しき里　わんぱく村	自然環境の保全、耕作放棄地の整備と活用による自然体験の場を作り、小中学生には総合学習及び体験の場、幼稚園児には昆虫採集・遠足など野外体験の場、また企業にはリーダー養成研修の場として利用されるとともに、森林整備・里山整備に取り組んでいる。	約9年間	木曽町

さわやか信州省エネ大作戦・2020夏

取 組 期 間：令和２年７月１日（水）から９月 30 日（水）まで
目　　標：電力需要量→35 億 5,400 万 kWh（令和元年度実績）以下
　　最大電力→260.8 万 kW 以下（平成 22 年度実績比▲11.0%）
重点テーマ：感染症や熱中症を予防しながら、健康・エコな暮らしを !!

まなぶ・体験する

―温暖化の現状や、エコな取組を知る―

○信州環境カレッジ
- 県内の様々な環境イベントを講座として登録
- セミナーや体験学習を通じて省エネに関する「まなび」を促進
- e-ラーニングや WEB 講座用動画を通じた「まなび」の機会の提供も予定

○エネルギー供給事業者の省エネ啓発企画を紹介
- 県内にエネルギー（ガス・電気）を供給する事業者が実施する、県民を巻き込む省エネ啓発イベントを募集
- 事業者と県が協力して PR し、県民のさらなる省エネの取組を促進

しらべてみる

―エネルギーの見える化で、省エネ・創エネを身近に―

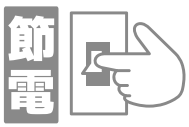
○信州屋根ソーラーポテンシャルマップ
- 屋根の面積、傾斜、地域の日射量、周囲の日陰等の情報を利用し、自宅での太陽光発電、太陽熱利用のポテンシャル及び予想節約額を可視化したマップを全県で公開
- 蓄電池や電気自動車（EV）などと組み合わせたエネルギーの有効な活用方法を検討

やってみる

―健康・エコな生活を実践し共有する―

○健康・エコな過ごし方を発信
- 感染症予防のための換気と、熱中症予防のためのエアコン利用について、この夏を健康に過ごすための手法を省エネの観点も踏まえ紹介
- 長野県家庭の省エネアドバイザーへのインタビュー形式によりわかりやすく発信

長野県 PR キャラクターアルクマ
©長野県アルクマ



○省エネアイデアの募集
- 暑い夏を健康で涼しく、エコに過ごすために実践している「省エネ行動」、「グッズの活用」、「料理」など、県民が実践できる工夫やアイデアを幅広く募集
- 誰もが取り組めるアイデアとして HP で公表

各事業の詳細は、省エネ大作戦 HP をご覧ください

https://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/kurashi/ondanka/setsuden/shoene/index.html

エコロジー掲示板

7月1日からレジ袋の有料化がスタートしました

令和２年７月１日から全国のスーパーマーケット、コンビニ、ドラッグストアなど全ての小売店で、レジ袋が有料になりました。これは、近年世界的な課題となっている海洋プラスチック問題や地球温暖化問題などへの対応として、プラスチック製品の過剰な使用・廃棄を抑制していくための施策として実施されたものです。

普段、何気なくもらっていたレジ袋、この機会にマイバッグ・マイバスケットに切り替えるなど、ライフスタイルを見直してみましょう。

お知らせ 長野県では「信州プラスチックスマート運動」を実施しています！

太平洋・日本海へと流れ込む河川を有する上流県の責務として、県では「３つの意識した行動」を呼び掛けています。私たち一人ひとりが意識して次のことを実践し、“ごみ減量日本一”の継続と、自然豊かで「環境にやさしい長野県」を目指しましょう。

１．意識して「選択」　何気なく受け取っているストローやレジ袋、不要なときは断ってみましょう。
２．少しずつ「転換」　できるだけマイバッグやマイボトルを使うよう心掛けましょう。
　　詰め替え製品を選ぶようにしていきましょう。
３．分別して「回収」　役目を終えたプラスチック製品は、自治体のルールに従い、分けて回収へ。

【問合せ先】長野県 環境部 資源循環推進課
TEL：026-235-7187　FAX：026-235-7259　E-mail：junkan@pref.nagano.lg.jp

スマホアプリで「自宅でセミ調べ_2020」にご参加ください

長野県環境保全研究所では、気候変動の影響を調べ、環境の変化を感じてもらうために、県民のみなさんから身近な生きものや季節の情報を提供していただく仕組みづくりに取り組んでいます。

今年度から、スマートフォンやタブレット端末のアプリを利用して県内のセミの分布を調べる「自宅でセミ調べ_2020」を始めます。環境の変化に敏感なセミの分布やその変化を把握し、気候変動の影響を調べていきます。

「自宅でセミ調べ_2020」に参加してくださる方は、下記のWEBサイトにアクセスしていただくか、長野県環境保全研究所までお問合せください。

信州気候変動適応センターの調査ページ（https://lccac-shinshu.org/support/）

【問合せ先】長野県 環境保全研究所 自然環境部
TEL:026-239-1031　FAX:026-239-2929　E-mail:kanken-shizen@pref.nagano.lg.jp

「ライチョウ保護スクラムプロジェクト」の取組み

絶滅の危機にあるライチョウの生息数を殖やす方法の一つとして、悪天候や天敵から雛を守り生存率を上げる「ケージ保護」があります。

「ケージ保護」とは、日中は親子の散歩に人が付き添い、夜はケージ（鳥小屋）内で天敵から守り、雨天時にはケージの中で高山植物の餌を与えて保護する方法です。

長野県は、環境省が中央アルプスで行っているライチョウ復活プロジェクトと連携し、ケージ保護に携わる技術者の養成やライチョウの目撃情報を投稿できるアプリの開発を行う「ライチョウ保護スクラムプロジェクト」を実施し、その財源として、クラウドファンディングを利用して全国から寄付を募っています。

寄付をしていただいた方も含めた関係者全員が、スクラムを組んで頑張っています。

長い取り組みになりますが、これからも応援をよろしくお願いいたします。

「ライチョウ保護スクラムプロジェクト」のホームページ（https://www.furusato-tax.jp/gcf/893）
【問合せ先】長野県 環境部 自然保護課
TEL:026-235-7178　FAX:026-235-7498　E-mail:shizenhogo@pref.nagano.lg.jp

発行日／令和2年8月7日
発　行／信州豊かな環境づくり県民会議
事務局／長野県環境部 環境政策課
TEL／026-235-7169(直通)
URL／https://www.pref.nagano.lg.jp/kankyo/kenminkaigi_tamaki.html

古紙配合率70%再生紙を使用しています
古紙配合率70%再生紙を使用しています。